

第32期(令和3年度) 事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

社会福祉法人鹿南福祉会
石川県鹿島郡中能登町西馬場工部 56 番地

目 次

法人本部	1
基本理念	4
施設サービス課	5
地域密着型施設サービス課	7
在宅サービス課	10
各サービス実施行事	13
管理課	14
その他	14

令和3年度事業報告書

1. 法人本部

(1) 理事会

ア. 第1回理事会

日 時 令和3年6月3日 午前10時00分

場 所 鹿寿苑会議室

- 議 件
- ① 令和2年度事業報告書の承認について
 - ② 令和2年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ③ 社会福祉充実残額について
 - ④ 評議員選任・解任委員会外部委員の選任について
 - ⑤ 「福祉サービスに関する苦情解決の実施規程」に係る第三者委員の選任について
 - ⑥ 定時評議員会の開催について
 - ⑦ 評議員選任候補者の推薦について
 - ⑧ 特殊浴槽更新事業に係る売買契約の締結の承認について

イ. 第2回理事会

日 時 令和3年6月18日 午後1時30分

場 所 鹿寿苑会議室

- 議 件
- ① 理事長の選出について
 - ② 令和3年度収支補正予算について
 - ③ 減価償却積立金の取り崩しについて

ウ. 第3回理事会

日 時 令和3年12月13日 午後2時00分

場 所 鹿寿苑会議室

- 議 件
- ① 運営規程の一部改正について
 - ② 令和3年度収支補正予算について
 - その他 中間報告（事業報告 会計報告）

エ. 第4回理事会

日 時 令和4年3月11日 午後2時00分

場 所 鹿寿苑会議室

- 議 件
- ① 運営規程の一部改正について
 - ② 減価償却積立金の積立てについて
 - ③ 令和3年度収支補正予算について
 - ④ 令和4年度事業計画について
 - ⑤ 令和4年度収支予算について
 - ⑥ 減価償却積立金の取り崩しについて
 - ⑦ 施設長の選任について

(2) 評議員会

ア. 定時評議員会

日 時 令和3年6月18日 午前10時00分

場 所 鹿寿苑会議室

- 議 件
- ① 令和2年度事業報告書について
 - ② 令和2年度貸借対照表及び収支計算書、財産目録の承認について
 - ③ 社会福祉充実残額について
 - ④ 理事の選任について
 - ⑤ 監事の選任について

(3) 監査

ア. 令和2年度決算監査

日 時 令和3年5月26日 午前10時00分

場 所 鹿寿苑会議室 監査結果 指摘、指示事項なし

イ. 令和3年度中間監査

日 時 令和3年11月26日 午前10時00分

場 所 鹿寿苑会議室 監査結果 指摘、指示事項なし

ウ. 令和3年度社会福祉法人等指導監査

- ① 日 時 令和3年12月8日 (法人・第二鹿寿苑：実地)

監査結果 指摘事項なし

- ② 日 時 令和4年2月15日 (特養：書面)

監査結果 指摘事項なし

- ③ 日 時 令和4年2月22日 (グループホーム：実地) 中能登町

監査結果 (指摘事項)

- ・ 代表者は認知症対応型サービス事業開設者研修を受講すること

(改善内容) 来年度受講予定

- ・ 処遇改善加算のキャリアパス要件の職員への周知方法を明確にすること

(改善内容) 年度当初の職員会議での説明に合わせて、苑内に掲示し周知を図る

- ・ 特定処遇改善加算取得要件、外部評価の内容を施設内に掲示及びホームページへの掲載をすること

(改善内容) 特定処遇改善加算取得要件に関しては、支給時に苑内、グループウェアに掲載している。ホームページへは、来年度のホームページのリニューアル時に掲載予定。

外部評価の内容は施設内に掲示。

改善内容は令和4年3月30日付けで中能登町へ報告

(4) 登記

資産の総額 1,224,716,583 円

令和3年3月31日変更 令和3年6月25日登記

(5) 令和3年度減価償却積立金取崩事業

特殊浴槽更新事業 7,150,000 円

タイマー式立体炊飯器 563,583 円

真空調理用加熱器 321,917 円

基本理念

目指す目標

具体的取組 (令和3年度 重点方針)

鹿寿苑は、まごころのこもったサービスと安心して暮らせる施設を目指します。
「気づきと行動」「責任」「地域交流」

1 「気づきと行動」
一人ひとりの価値観を尊重したサービスの提供

ICT (Information and Communication Technology) 「情報伝達技術」
IoT (Internet of Things)

2 「責任」
社会的責任と資質の向上

3 「地域交流」
地域から親しまれる施設

- 1. 利用者一人ひとりの理解を深め、ニーズに応じたサービスの提供**
 - (1) 多職種協働の包括的支援 (チームケアの充実)
 - ① 利用者の意向に沿ったケアプランの作成と質の高いチームケアの実践
 - ② 利用者を主体とした生活の提供を目指した業務改善の実施
『利用者にとっての当たり前を当たり前』
 - ③ ユニットケアの特徴を活かし、利用者個々を深く理解し共感する (第二鹿寿苑)
 - ④ 看取りケア、認知症ケア、口腔ケア、栄養ケアの充実
- 2. 利用者の満足度の向上**
 - (1) 「苦情・要望」の積極的受入。共有と透明性、説明責任、「受付事例」の活用
 - (2) 利用者満足度調査の実施とその対応
- 3. 安全で安心して暮らせる環境の整備とリスク管理意識の向上**
 - (1) KYT (危険予知トレーニング)、SHELモデルを活用した気づきの向上
 - (2) 「ひやりはっと」の分析と対応策の検討
 - (3) 感染予防・食中毒防止 (『持ち込まない・持ち出さない』)
 - (4) 防災意識の向上と訓練の実施 (火災、地震、水害想定)
 - (5) 5S (整理・整頓・清潔・清掃を習慣にする) の徹底
 - (6) ICT、IoTの導入と、新たな導入に向けての情報収集の取り組み

- 1. 人材育成「鹿寿苑職員としての自覚と誇りを持ち、やりがいのある職場を目指す」**
 - (1) 階層別 (新人・中堅・リーダー等) 研修の実施
 - (2) 職員育成プログラムに沿った人材育成の実施
 - (3) 自らテーマを決め、介護技術、相談援助技術の向上に取り組む
 - (4) メンタルヘルスケアの実施と、介護機器 (超低床電動ベッド、リフト、トランスファーボード) の活用による腰痛予防で、心身ともに健康で働ける職場を目指す
- 2. 信頼される施設経営**
 - (1) 健全経営、効率的な施設運営 (確実なる稼働率の向上、経費削減)
 - ① 光熱水費・消耗品等の経費削減の推進 (デマンド監視装置の活用)
 - ② 中長期計画に基づいた経営状況の各職員への周知
- 3. 専門職としての責任と資質の向上**
 - (1) 待遇への意識のさらなる向上「よい待遇を見習おう。よいところは褒めあおう。」
 - ① 待遇研修
 - ② 自己評価の実施
 - (2) 身体拘束、スピーチロック (言葉の拘束) ゼロを目指す

- 1. 地域との交流・地域貢献**
 - (1) さまざまな年代のボランティアや、実習生の積極的受入れ
 - (2) 職員ボランティア、認知症キャラバンメイトによる活動、介護者教室の開催
 - (3) 広報誌・鹿寿苑ホームページを利用した積極的な情報発信
 - (4) 地域住民への施設の活用と交流 (認知症カフェ、サロン)

I. 施設サービス課

1. 特 養（稼働率目標：97.7%）・短期入所生活介護（稼働率目標：3.5人／日）

（1）生活相談

- ・入居者とその家族が安心して生活できる場を提供するために、多職種で連携を図る
- ・希望に添ったサービスの提供の実施
 - ① 入居者、家族のニーズが充足できるようなPDCAの確立
 - ② 家族、医療機関及び他関係機関との「信頼関係」の充実
 - ③ 稼働率を維持するための早急な新規入居への取り組み
 - ④ 入居者との余暇時間の充実
 - ⑤ 短期入所生活介護の新型コロナウイルス感染予防に努めた受け入れの実施

（2）介 護

- ・入居者主体の生活の場の提供『私らしく暮らせる住まいづくり』
 - ① 『私らしい』生活を考えたケアの実施
 - ② 多職種の専門性を活かした情報提供による課題解決の実施、ケアプランに基づいたサービスの提供
 - ③ 入居者にとっての大切な家族との関わりを考え、最適なコミュニケーションの実施
 - ④ 余暇時間の充実（生活に楽しみ・ゆとり・生きがいにつながる活動の提供）
 - ⑤ 職員のレベルの向上と各フロアーの力の底上げ

（3）健康管理

- ・多職種と連携を図り、専門性を活かしたケアの提供
- ・入居者が苦痛なく健康に日々を過ごし、穏やかに最期まで過ごすことができる環境づくり
 - ① 健康管理と異常の早期発見と早期対応
 - ② 集団感染予防及び二次感染防止のために感染委員と連携し対応をおこなう
 - ③ 本人や家族が希望する看取りの充実と実現
 - ④ 専門知識を提供し、共有することで、多職種での共通理解を図る

（4）入居者状況（令和4年3月31日現在）

① 介護度別入居者状況

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女	合計
人数	2	4	36	31	16	18	71	89
%	2.3	4.5	40.5	34.8	18.0	平均要介護度		3.6

② 年齢別状況

（単位：人）

	65～70歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	合計
男	0	4	8	6	0	18
女	0	5	27	32	7	71
合計	0	9	35	38	7	89

* 平均年齢 89.2歳（男：86.6歳 女：89.8歳）最高齢者 男：96歳 女：103歳

③ 入退居の状況

退居者数	33人 (内訳)	死亡：30人 (施設 24人 病院 6人)
		長期入院：3人 在宅復帰：0人
入居者数	37人 (内訳)	在宅：16人 病院：8人 グループホーム：3人
		老人保健施設：9人 有料老人：1人

④ 入居状況

	月末在籍者数 (人)	利用延人数 (人)	稼働率 (%)
4月	82	2,408	89.2
5月	83	2,429	87.1
6月	85	2,403	89.0
7月	90	2,630	94.3
8月	87	2,678	96.0
9月	89	2,520	93.3
10月	86	2,626	94.1
11月	86	2,516	93.2
12月	89	2,580	92.5
1月	90	2,700	96.8
2月	90	2,396	95.1
3月	89	2,655	95.2
合計	—	30,541	93.0

* 令和2年度稼働率 93.6%

⑤ 短期入所生活介護利用状況

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
4月	0	0	0	60	30	18	12	120	4.0
5月	0	0	0	48	8	31	16	103	3.3
6月	0	0	0	72	0	0	14	86	2.9
7月	0	0	0	63	14	12	12	101	3.3
8月	0	6	2	69	2	11	9	99	3.2
9月	2	0	2	75	2	3	4	88	2.9
10月	5	0	2	64	0	10	2	83	2.7
11月	2	0	2	53	0	6	0	63	2.1
12月	0	0	5	63	0	15	0	83	2.7
1月	2	0	6	45	2	12	0	67	2.2
2月	4	3	2	41	16	14	0	80	2.9
3月	0	7	3	57	25	14	0	106	3.4
合計	15	16	24	710	99	146	69	1,079	2.9
割合	1.4%	1.5%	2.2%	65.8%	9.2%	13.5%	6.4%	100.0%	

* 令和2年度1日平均 2.1人

2. 栄養管理

①給食管理：安心安全な食事の提供

季節感ある美味しい食事の提供

- ア. 品質の安定・食中毒、異物混入防止
- イ. 行事食・メニューの見直し及び改善
- ウ. 入居者、利用者1人ひとりに応じた食事提供
- エ. パソコン入力による真空調理及び調理業務の見直し
- オ. 食中毒発生時献立見直し
- カ. 給食費と食数の把握

②栄養管理：多職種連携による食事提供及び食事箋発行

栄養ケアマネジメントの充実（特養）

- ア. 多職種連携による食事の提供
- イ. 食事内容表の見直し
- ウ. 栄養ケアマネジメントの評価・見直し
- エ. 療養食加算、約束食事箋、食種別栄養所要量の見直し
- オ. 栄養士業務マニュアル見直し

③人事管理：個人にあった指導の方法、作業の見直し及び改善

- ア. 職員個人に合わせた指導、作業の実施
- イ. 目標の明確化
- ウ. 健康・衛生チェックの実施
- エ. 機械化の検討、作業能率の向上と省略化
- オ. 勤務時間の見直し

II. 地域密着型施設サービス課

1. 第二鹿寿苑（稼働率目標：97.0%）

- ・ うれしいいきいき、こころのびのび、いつもあなたと共に
 - うれしいいきいき：今までの暮らしが続けられるようにします。
 - こころのびのび：地域と心をつなぎ、共に育てていきます。
 - いつもあなたと共に：家庭的な雰囲気と共に過ごす時間を大切にします。

- ① ユニットケアによる充実したサービス提供
- ② 暮らしの継続の追求
- ③ 「地域の中の第二鹿寿苑」をめざす。コロナ禍における関わりの検討
- ④ 入居者・ご家族・職員の安心の関係作り
- ⑤ いきいきと働ける職場作り

⑥介護度入居者状況（令和4年3月31日現在）

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女	合計
人数	1	0	13	11	4	6	23	29
%	3.5	0	44.8	37.9	13.8	平均要介護度 3.6		

⑦年齢別状況

（単位：人）

	65～70歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	合計
男	0	0	2	4	0	6
女	0	2	5	15	1	23
合計	0	2	7	19	1	29

* 平均年齢 90.6歳（男：89.2歳 女：91.0歳）最高齢者 男：94歳 女：100歳

⑧入退居の状況

退居者数	3人（内訳）死亡：1人（施設1人 病院0人） 長期入院：2人
入居者数	3人（内訳）在宅：2人 病院：1人 老人保健施設：0人

⑨入居状況

	月末在籍者数（人）	利用延人数（人）	稼働率（%）
4月	29	863	99.2
5月	29	875	97.3
6月	29	831	95.5
7月	29	853	94.9
8月	29	877	97.6
9月	29	810	93.1
10月	29	843	93.8
11月	28	841	96.7
12月	29	886	98.6
1月	28	866	96.3
2月	28	776	95.6
3月	29	851	94.7
合計	—	10,172	96.1

* 令和2年度稼働率 94.9%

2. グループホーム（稼働率目標：98.0%）

- ・入居者一人一人を理解し、本人、家族の思いを大切にされた支援をおこなう
- ・安心して落ち着いて生活できる場を提供し、「笑顔が絶えない家」づくりを目指す

- ① 入居者のニーズに応じたケアプランの作成とサービスの提供
- ② 家族との信頼関係の確立
- ③ 地域との交流 地域密着サービス運営推進員会議（対面1回、書面5回）、
- ④ 主治医との連携
- ⑤ 職員の資質の向上（係内研修）

⑥ 介護度別入居者状況（令和4年3月31日現在）（単位：人）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女
人数	0	1	5	3	0	0	0	9

平均要介護度 2.2

⑦ 年齢別状況（単位：人）

69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	計
0	1	5	3	0	9

* 平均年齢 87.5歳 * 最高年齢 女：98歳

⑧ 入退居の状況

退居者数	1人	(特養へ入居)
入居者数	1人	(在宅より)

⑨ 入居状況

	月末在籍者数(人)	利用延人数(人)	稼働率(%)
4月	9	240	88.9
5月	9	253	90.7
6月	9	261	96.7
7月	9	254	91.0
8月	9	277	99.3
9月	9	270	100.0
10月	9	262	93.9
11月	9	270	100.0
12月	9	279	100.0
1月	9	279	100.0
2月	9	248	98.4
3月	9	249	89.2
合計	—	3,142	95.6

令和2年度稼働率：94.9%

Ⅲ. 在宅サービス課

1. デイサービス（稼働率目標：20.0人／日）

- ・利用者の自立支援を目指したサービスの提供
- ・利用者がデイサービス利用後に「来てよかった、楽しかった」と言われるようなサービスを目指す

① 利用者のニーズに応じたサービスの提供

（通所介護計画の作成・機能訓練・認知症ケア・口腔体操、口腔ケアの実施）

② 利用者・家族在宅生活支援事業

（健康講座（4回）・栄養講座（2回）の開催、「ほほえみ」便りの発行：4回／年）

③ 地域交流・苑外活動は感染症予防のため未実施

④ 職員の資質の向上（係内勉強会の実施）

⑤ 新型コロナウイルス感染予防の徹底

⑥ 要介護度別利用者実人数（令和4年3月31日現在）

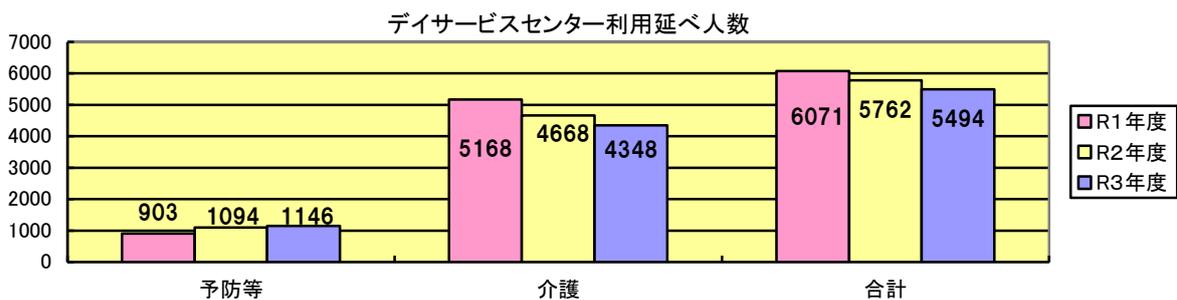
（単位：人）

	事業対象者	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	0	19	21	15	6	1	3	65
%	0	29.2	32.4	23.1	9.2	1.5	4.6	100.0

⑦ 利用者延べ人数

（単位：人）

年度	予防等延べ人数	介護延べ人数	合計延べ人数	1日平均
令和3年度	1,146	4,348	5,494	17.8
令和2年度	1,094	4,668	5,762	19.4
令和1年度	903	5,168	6,071	19.8



2. 訪問入浴介護（稼働率目標：3人／日 2日／週）

- ・安心安全で喜ばれる入浴サービスの提供とサービスの質の向上

① 家族・主治医・担当ケアマネジャー・訪問看護等関係機関との連携

② 利用者個々のニーズに応じたサービスの提供

（看取り期の利用者への苦痛のない安楽な入浴支援、家族の介護負担の軽減）

③ 毎月の勉強会による職員の資質の向上

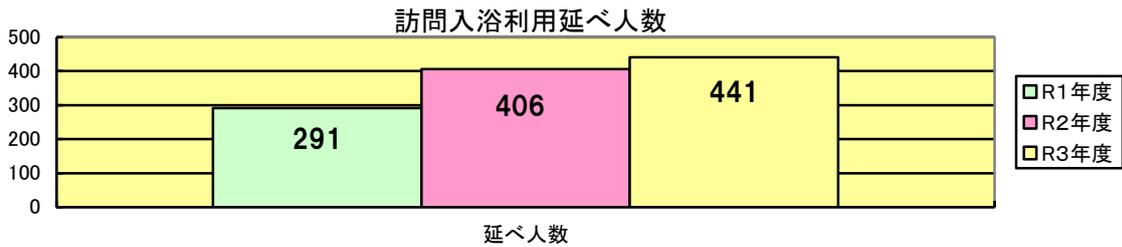
④ 入浴車の安全管理

⑤ マスク、ガウン等の着用による新型コロナウイルス感染症対策の徹底

⑥ 利用者状況

年度	実人数	延べ人数	1日平均	稼働日数
令和3年度	8人	441人	4.2人	105日
令和2年度	11人	406人	3.9人	104日
令和1年度	9人	291人	2.9人	101日

*実人数：令和4年3月31日現在



⑦ 中能登町地域支援事業「訪問入浴サービス」(身体障害者対象)

実人数 1人 延べ人数 52人

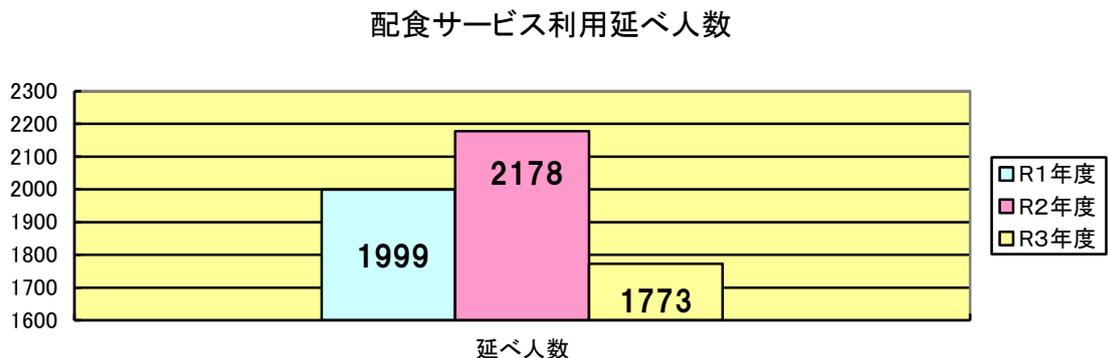
3. 配食サービス(稼働率目標：8.6食/日)

・中能登町「食」の自立支援事業に基づき、栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認の実施

- ① 季節に合った栄養バランスのとれた昼食の提供と衛生管理の徹底
- ② 安否確認と異常時の早期対応(関係機関との連携)
- ③ お弁当便りの発行(1回/月)
- ④ 利用者状況

年度	実人数	延べ食数	1日平均
令和3年度	9人	1,773食	6.9食
令和2年度	12人	2,178食	8.4食
令和1年度	12人	1,999食	7.8食

*実人数：令和4年3月31日現在



4. 居宅介護支援（ケアプラン作成目標：135件／月）

- ・利用者、家族が自宅・地域において生き生きとした生活を送ることができるように、利用者の意思、その人らしさを尊重した居宅サービス計画を作成する
 - ・誠意ある対応で利用者及び他事業所スタッフから信頼される事業所を目指す
- ① 質の高いケアマネジメントの実施
 - ② コロナ禍であっても住み慣れた地域での生活が継続できるように、メールなどを活用した他機関との連携を図ることで、地域を支えるネットワークの一員として活動した
 - ③ 職員の質の向上（オンライン研修による外部研修への参加。係内での事例検討等勉強会の実施。専門誌の購読）
 - ④ 居宅介護支援事業所計画作成件数（年間延作成件数）

	要支援1・2	要介護1・2	要介護3・4・5	計
件数	259	914	485	1,658
割合(%)	15.6	55.1	29.3	100.0

月平均 138.1件（令和2年度月平均 131.3件）

IV. 各サービス実施行事

	特 養	第二鹿寿苑	グループホーム	デイサービス
4月	家族会総会（書面） 桜花見	家族会総会（書面）	家族会総会（書面） 桜花見ドライブ	お花見ドライブ
5月	野菜・花の苗植え			健康講座「みんなで元気になる体操」
6月	七夕（飾り付け）			栄養講座「食中毒について」 ミニ運動会
7月	シャボン玉	千里浜ドライブ		健康講座「気を付けよう！夏の病気“熱中症”」
8月	花火大会	花火大会		夏祭り
9月	敬老会 リース作り	敬老会（ユニット毎）	敬老会	敬老会
10月	紅葉ドライブ、焼き芋 秋祭り（獅子舞）	ドライブ	ハロウィンパーティー	
11月	紅葉ドライブ			健康講座「インフルエンザ&ノロウイルス」
12月	クリスマス会 おやつ作り	クリスマス会 忘年会	クリスマス会	忘年会 クリスマス会（パフェ作り） ゆず湯 クリスマスケーキ作り
1月	新年会	お正月あそび	お正月	お茶会 栄養講座「おくちがおとろえる？」
2月	節分	節分	節分	おやつ作り（バレンタインクレープ） 健康講座「冬のかくれ脱水について」
3月	感謝祭			ケーキバイキング

〔共通〕 誕生会 〔特養〕 生け花クラブ（2回／月）〔第二、グループホーム〕 運営推進会議（対面1回/書面5回）（1回／2ヶ月）笑顔の友の会（2回／年）

V. 管 理 課

1. 庶 務

- ・ 正確で迅速な事務運営を行い、法人及び各事業所の健全経営をサポートする。

① 経常経費の節減

- ア. 現状報告の継続（課長会議、合同会議で月1回報告）
- イ. 共通消耗品の在庫管理及び物品保管の整理整頓
- ウ. 経費節減案の提案
- エ. 水道光熱費の節約（デマンドサポートの活用）

② 経営基盤強化のサポート

- ア. 月次報告（月次報告及び予算執行状況報告等）
- イ. 全職員対象の会計研修の実施（鹿寿苑経営状況報告 資料配布）

③ 管理課業務のマニュアル化

- ア. 業務内容の整理及び見直し
- イ. 一部マニュアルの作成

④ 職員福利厚生

- ア. インフルエンザワクチン接種助成期間の短縮

VI. そ の 他

1. 地域との交流

① ボランティア

- ア. ボランティアの受入れ状況

コロナウィルス感染症予防のため、ボランティアグループ、個人ボランティアいずれに関しても中止

- イ. 職員苑外ボランティア

コロナウィルス感染症予防のため中止

② 広報誌等の発行

- ・ 『鹿寿苑だより』 （2回／年）
- ・ 『家族会通信』 特養・第二・グループホーム（特養4回／年 第二・グループホーム1回／月）
- ・ 『ほほえみだより』 デイサービス （4回／年）
- ・ 『お弁当だより』 配食サービス （1回／月）
- ・ 鹿寿苑ホームページ （平均アクセス件数 30,609件／月）
（令和2年度29,984件）

2. 災害防止・安全対策

①定例会・点検・訓練等

対策・訓練内容		実施回数
防火管理委員会（防災委員会）定例会		12回
防災設備自主点検		12回
防災設備保守点検		2回
防災訓練	消防設備（スプリンクラー・非常通報装置・消火設備）取扱説明と実践	1回
	通報訓練	2回
	消火訓練（消火器・消火栓）	1回
	消火・避難訓練（日中火災想定） デイサービスのみ	1回
	総合訓練（日中地震想定） 全体（鹿寿苑・第二鹿寿苑）	1回
	総合訓練（夜間火災想定） 全体（鹿寿苑・第二鹿寿苑）	2回
シェイクアウトいしかわ訓練参加 7月7日 11:00		1回

②立入検査 実施なし

3. 接遇教育

- ・接遇への意識をより高める取り組み「よい接遇を見習おう。よいところは褒めあおう。」
勤務開始前の「接遇の唱和」の実施 自己評価の実施

4. 研 修

* 外部講師による研修

	テ ー マ	参加人数
苑内研修	新規採用職員研修	10
	法令遵守・虐待防止・個人情報の保護 等	29（全職員資料配布）
	* 感染予防研修（石川県看護協会）	25
	消火訓練	22
	感染症対策 Web セミナー介護福祉施設編	全職員視聴
	身体拘束と高齢者虐待防止、スピーチロック（2回）	91
	* AED 心肺蘇生（消防署職員）	13
	接遇研修 Web セミナー	全職員視聴
	* 口腔ケア研修（和泉歯科医師）	9
	施設における介護ロボット・IcT 導入事例 Web 配信	介護職員視聴
	各係勉強会 [1回/月]	
派遣研修	パラマウントベッド・ポジショニング基本編	
	職場環境改善研修（移乗動作・リフトの活用）	
	新人職員向け接遇講習会	
	キャリアパス対応生涯研修（中堅職員・リーダー）	
	介護職員等による喀痰吸引等のための研修・指導者養成講習	
	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修	
	リスクマネジメント実践研修	
	認知症介護基礎研修	
	認知症介護実践研修・実践者研修	
	石川県災害派遣福祉チーム員登録研修	
	介護支援専門員更新研修	
	人事管理研修	
	介護労働者雇用管理責任者講習	

5. 資格取得者 (単位：人)

資格・免許名	有資格者令和3年度	有資格者数令和2年度
社会福祉士	5	5
介護福祉士	69	65
介護支援専門員	24	22
看護師（正・准）	12	12
管理栄養士	1	1
合計	延べ111人	延べ105人

* 資格者数は産休・育休含む（R3.3.31現在）

6. 実習生等の受入れ (単位：人)

実習養成校等	延人数	実人数
田鶴浜高校（介護実習）	126	6
国際医療福祉専門学校（介護実習）	0	0
合計	126	6

7. 各種会議

会議名	回数
職員会議	1回／年
合同会議・課長会議	1回／月
入居検討委員会	3回／年
入居者サービス担当者会議	2回／週
各係会議	1回／月

8. 要望や提言の積極的受け入れ

1. 月別苦情・要望受付件数

() 内は令和2年度件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(1)	(0)	(1)	(5)

2. おほめ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(4)

3. 相談者別受付件数

	令和3年度 受付件数	令和2年度 受付総数
利用者		
家族	1	5
他の事業所		
その他	1	
計	2	5

4. 連絡方法別受付状況

	令和3年度 受付件数	令和2年度 受付総数
来所（利用時・面会）		2
電話	1	3
御意見箱等	1	
計	2	5

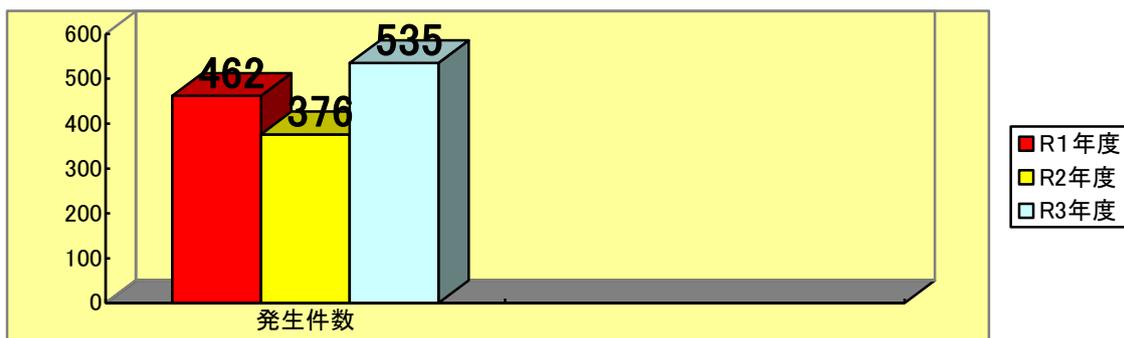
5. 苦情・要望内容別状況

() 内は令和2年度受付総数

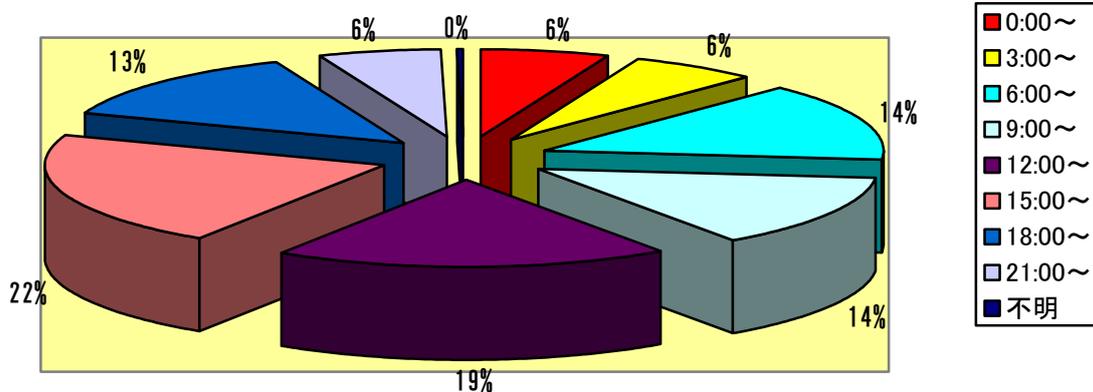
	ケアに関わる 事項	接遇に関わる 事項	その他	計
特養			1	1
短期入所	(1)			(1)
グループホーム			(1)	(1)
第二	(1)			(1)
通所介護				
訪問入浴				
配食			(1)	(1)
居宅介護			1 (1)	1 (1)
その他				
計	(2)		2 (3)	2 (5)

9. 「事故・ひやり、はっと」

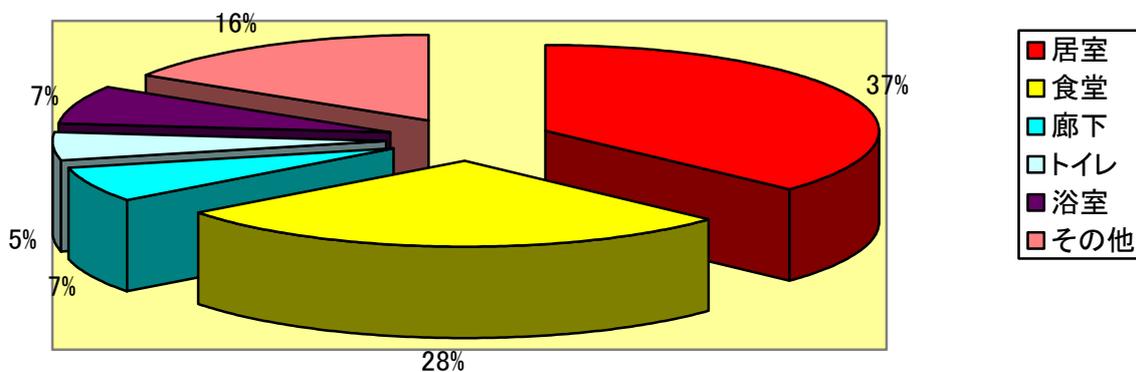
①事故・ひやり、はっと発生件数



②発生時間帯



③発生場所



④種類

